

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築学通論	担当教員	青木哲、下村波基、藤田大輔		
学年学科	1年 建築学科	後期	必修	1単位	
学習・教育目標 (D-4) 100%					
授業の目標と期待される効果： 建築の三分野（環境・構造・計画）の学問的意義を例示しながら、建築学を学ぶための基礎を習得する。 具体的には以下の項目を目標とする。 ①建築環境知識の必要性の理解 ②構造・安全の必要性の理解 ③建築計画・設計の視点・必要性の理解		成績評価の方法： 中間試験：環境系50点、構造系50点 期末試験およびレポート：計画系100点（レポート40点、期末試験60点） 試験の総得点を得点率に換算して評価を行う。 達成度評価の基準： 各種専門書及び教科書の内容と同等レベルの問題を試験などで出題し、下記のレベルまで達していること。総合して6割以上の正答レベルに達していること。 ①人間生活に必要なエネルギー・快適性に関する初歩的な知識に関する試験問題に6割程度の正答ができること ②建築物に作用する荷重やそれに耐えるための各種構造・構法についての試験に対して6割程度の正答ができること ③建築計画・設計に関する基本的知識に関する試験問題を6割程度正答できること ④近年設計された建築について自分の目で確かめ、適切にレポートできること			
授業の進め方とアドバイス： 建築の三分野の技術の必要性を考えながら学習すること。また、日頃から、建築作品・関連雑誌に目を通し、建築に触れる努力をすること。					
教科書および参考書： アーキテクテク ～東海の建築ガイド～（建築ジャーナル編）					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回：ガイダンス（建築の3分野）、環境とは？					
第 2 回：空気・熱・湿気環境と建築					
第 3 回：光・色・音と建築					
第 4 回：建築物に作用する荷重					
第 5 回：各種構造					
第 6 回：構造とその形態					
第 7 回：中間試験					
第 8 回：環境系・構造系のまとめ					
第 9 回：建築計画の役割					
第10回：建築計画・設計の基礎					
第11回：東海地方の近代建築と都市空間の特徴					
第12回：東海地方の産業と生活空間の特徴					
第13回：東海地方の戦後の建築と岐阜の建築的特徴					
第14回：建築作品の解説1					
第15回：建築作品の解説2					
期末試験					
第16回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）					